

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公表番号】特表2011-514197(P2011-514197A)

【公表日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-018

【出願番号】特願2010-549215(P2010-549215)

【国際特許分類】

A 6 1 B 10/02 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

G 0 2 B 23/26 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 10/00 1 0 3 B

A 6 1 B 1/00 A

A 6 1 B 1/00 3 0 0 D

G 0 2 B 23/26 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年5月9日(2014.5.9)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

身体において生検装置を位置決めするための統合誘導のためのシステムであって、
粗い誘導のためのトラッキング装置と、

精細な誘導のための、光検出器を有する分析装置であって、分光法により前記身体の組織のスペクトル分布を測定し、組織を区別する情報を提供する分析装置と、

先端部を備えた長手素子である生検装置と、

制御部と、

を有し、

前記生検装置は、前記トラッキング装置により追跡されるように適合させられ、

前記光検出器は、前記生検装置の先端部に統合されており、

前記制御部は、前記組織を特徴付けるために、前記組織を区別する情報を、予め記憶された前記身体の構造画像と組み合わせる、

システム。

【請求項2】

請求項1に記載のシステムであって、前記生検装置は、生検針である、システム。

【請求項3】

請求項1に記載のシステムであって、前記生検装置は、組織サンプルを取得するための針を受けるように適合させられた中空シャフトを有する、システム。

【請求項4】

請求項1に記載のシステムであって、前記生検装置は、身体構造に対する前記生検装置の位置を示す信号を前記トラッキング装置に伝送するための位置センサを有する、システム。

【請求項5】

請求項1に記載のシステムであって、前記分析装置の前記光検出器は、光ファイバを有

する、システム。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のシステムであって、前記分析装置は、分光法のためのコンソールをさらに有し、前記コンソール及び前記ファイバは、互いに接続させられている、システム。

【請求項 7】

請求項 6 に記載のシステムであって、前記分光法のためのコンソールは、反射分光法、蛍光分光法、自己蛍光分光法、区分経路長分光法、ラマン分光法、光コヒーレンストモグラフィ、光散乱分光法及び多光子蛍光分光法からなるグループのうちの 1 つから情報を提供するよう適合させられている、システム。

【請求項 8】

請求項 1 に記載のシステムであって、前記トラッキング装置は、電磁界に基づいて非侵襲性追跡モダリティである、システム。

【請求項 9】

請求項 1 に記載のシステムであって、前記トラッキング装置は、前記身体構造の画像を提供する画像形成装置の予め記録された画像に前記位置情報をリンクするよう適合させられている、システム。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のシステムであって、前記分析装置により供給される情報は、前記トラッキング装置の位置を用いて、前記画像形成装置の画像に位置合わせされる、システム。

【請求項 11】

生検装置であって、

粗い誘導のための、当該生検装置の位置を示す情報を提供することのできる位置センサと、

精細な誘導のための、光の発光及び受光が可能な、当該生検装置の先端部に一体化された光ファイバと、

前記光ファイバと接続される分析装置であって、分光法により前記身体の組織のスペクトル分布を測定し、組織を区別する情報を提供する分析装置と、

制御部と、

を有し、前記制御部が、前記組織を特徴付けるために、前記組織を区別する情報を、予め記憶された前記身体の構造画像と組み合わせる、

生検装置。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の生検装置であって、生検針である生検装置。

【請求項 13】

請求項 11 に記載の生検装置であって、組織サンプルを採取するための針を受容するよう適合させられている中空シャフトを有する生検装置。

【請求項 14】

生検装置を位置決めするシステムの各部が制御手段により制御される該システムの作動方法であって、該システムが、生検装置と、粗い誘導のために前記生検装置を追跡するトラッキング装置と、前記生検装置に統合された光ファイバ及び前記生検装置の先端又はその近傍の前面における組織を区別する光学情報を得るためのコンソールとを有する、精細な誘導のための分析装置と、を有し、前記方法は、

前記制御手段が、前記生検装置を追跡するように前記トラッキング装置を制御するステップと、

前記分析装置が、分光法により前記身体の組織のスペクトル分布を算出し、組織を区別する光学情報を提供するステップと、

前記分析装置が、前記組織を特徴付けるために、前記組織を区別する光学情報を、予め記憶された前記身体の構造画像と組み合わせるステップと、
を含む作動方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0037

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0037】

リアルタイム組織特性化を提供する方法は、光学的方法によるものである。例えば光学反射分光法又はラマン分光法は、組織特有の特徴的性質を提供するものと知られている。広帯域光源により組織が照射される反射分光法において、反射した散乱スペクトル光分布が測定される。組織特性における差（すなわち、特定組織の散乱特性における差）は、照射源の元のスペクトル分布と比較してスペクトル光分布の変化が視認可能である。さらに、光学分光法イメージング（すなわち、ポイント測定から二次元イメージングへ光学イメージングを拡張させることは、より一層詳しい組織特性を提供する。この場合、組織は、細胞構造が詳細な組織分析を可能とするよう視認可能となることができるミクロン分解能で観察される。この細胞イメージングが光学分光法と組み合わされるとき、着色を用いることなく組織の特性化を達成することができ、体外病変において現在用いられるものに近いものとなる。